

ごあいさつ（令和6年度（2024））



本校のホームページをご覧ください、誠にありがとうございます。

和歌山市の街中「西小二里」の住宅地に立地する本校は、国立大学法人和歌山大学教育学部の附属特別支援学校です。小学部、中学部、高等部を設置した知的障害教育に特化した特別支援学校です。小学部児童の大半はスクールバスで登校し、中学部高等部の生徒は、徒歩、自転車、バスや電車などの公共交通機関を利用して自力で登下校を行っています。昭和51年に開校した伝統ある附属学校で、本年度で開校48年目を迎えます。我々教職員は、子供たち一人一人の存在・価値・個性等を認め、現在も学校卒業後も「自立」と「社会参加」できる人、他人を認め優しく協働してより豊かに生きる力を培うことを願い、学校教育目標を「個々の児童生徒に応じた教育を行い、積極的に社会生活に参加できる人間を育成する」として日々、取り組んでいます。

学校教育目標をより具体化するために、「W」（わかやま大学）「F」（ふぞく）「T」（とくべつ支援学校）

（とくべつ支援学校）の頭文字で「WFT」とし、WISH・FELLOW・TRYの3つの生きる力を表現しました。「WISH」は夢と希望をもち心豊かに生きる力。自立して生きるためには自分を識り自分の将来に希望をもち自己有用感を高めることが大切です。児童生徒自身が得意なことを認知し又は教師が視える化（環境整備や支援等）し、がんばりたい・楽しみたいという自主性、意欲を引き出す支援と自身の成功体験が必要だと考えています。「FELLOW」は、なかまと共に・人と一緒に。コミュニケーション力や対人関係の構築には個人差・特性等がありますが、なかまとの関わりや思いやりの気持ちを少しずつ獲得し社会とのつながりや人との共感につなげていくことが「社会自立」のために大切な力であると考えています。「TRY」は、挑戦する・自ら行い自己決定する力。自ら考え行動し自己選択自己決定する力は社会で生きるためには重要です。自分づくりの力は個々によって多様であり異なります。チャレンジする力、場所、方法も個々によって異なります。「挑戦」するためには大きな力が必要で、それを支援するのは我々教員の役割であり、児童生徒のなかまの存在であると思っています。

教育目標を達成するために我々教職員一同、努力して参ります。最終目標である生徒の実態、ニーズに応じた進路先の決定はとても大切であり、多くの方々のお力をお借りしなければなりません。時代の変化、社会の変化、またいつ起こるかわからない



自然災害や感染症対応等、学校だけでは解決できない課題もたくさんあります。保護者の皆様方のご協力とご理解、地域近隣の方々のご支援、そして多くの事業所様や福祉、医療、労働関係の方々に深く感謝いたしますとともに今後も本校児童生徒のために何卒よろしくお願い申し上げます。

学校長 米田 良博

